

くトラ・トラ・トラ!>

く史上最大の作戦>

真珠湾、ノルマンディそして《ミッドウェイ》

空前のスケールと超豪華スターで贈る世界史を変えた史上最大の航空決戦!!

アメリカ建国200年記念作品



チャールトン・ヘストン

ジェームズ・フonda

ジョン・コバーン

ハロルド・フォード

三船敏郎

ロバート・ミッチャム

クリフ・ロバートソン

ロバート・ワグナー

ジェームズ・繁田



テクニカラー・パナビジョン
SENSURROUND

特殊音響装置センサラウンド方式

センサラウンド方式とは映画の歴史に革命をもたらした画期的なシステムで、劇場内の前後に設置された数個の特殊大型スピーカーから人間の耳に聞こえない音波（超低周波）を発し、空気を振動させて観客自身を刺激する。この方式により爆音や炸裂音と同時に全身が衝撃を感じ、これまでの映画では考えられない相乗効果が十分に得られる。

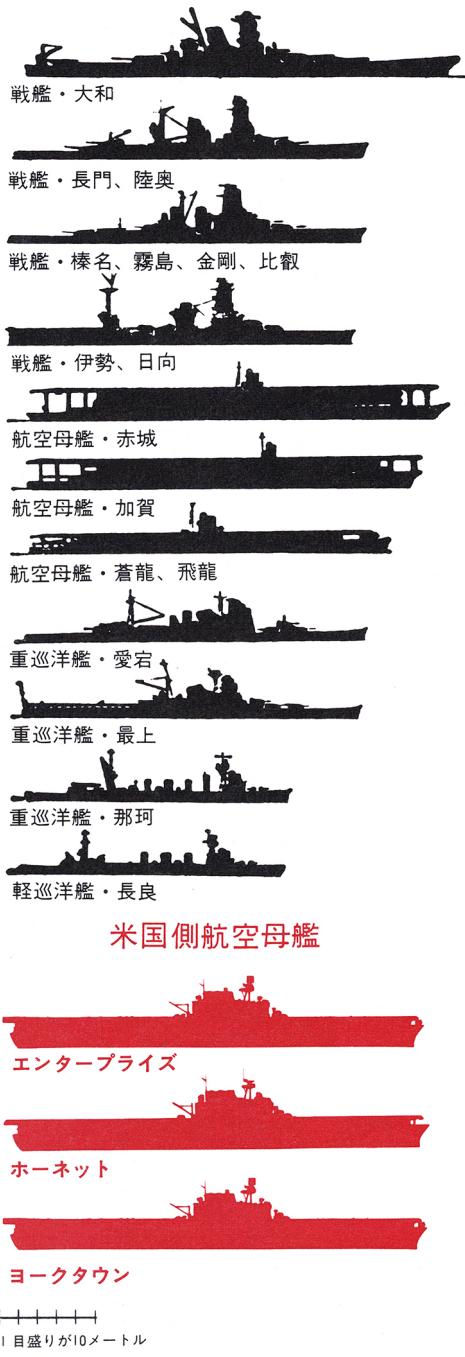
MIDWAY

ミッドウェイ

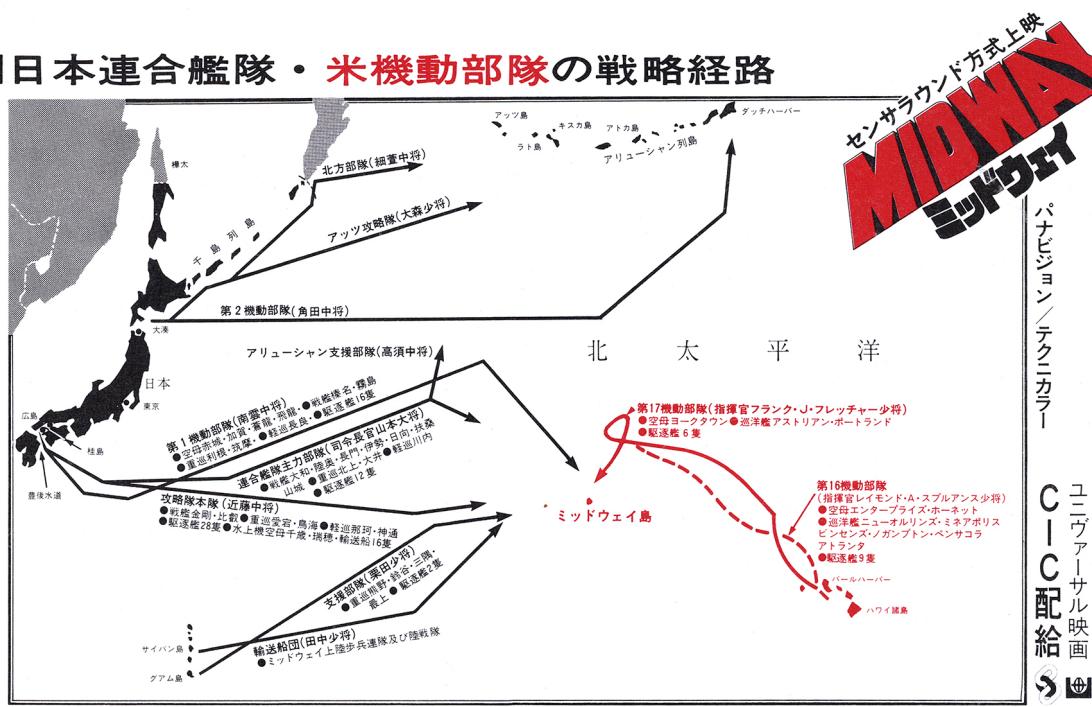
製作 ウォルター・ミリッシュ
監督 ジャック・スマイト
脚本 ドナルド・S・サンフォード
撮影 ハリー・ストラドリング・Jr
美術 ウォルター・タイラー
音楽 ジョン・ウイリアムス
特殊効果 ジャック・マクマスター
コロムビア映画

CIC配給

連合艦隊主要艦船



■ 日本連合艦隊・米機動部隊の戦略経路



ミッドウェイ。この名が示す通り、北太平洋のほぼ中央部に位置する面積わずか五平方キロメートルのこの環礁の小島は、一九四二年六月、この島の沖合いで戦われた日米海軍の大決戦によって永久に人々に記憶される名となつた。

真珠湾奇襲以来六ヶ月、破竹の勢いで太平洋の島々を飛び石づたに占領し、一步一步アメリカ本土に肉迫しつつあった日本軍は、実にミッドウェイ沖のこの航空決戦で最初のしかも決定的な打撃を受け、その後の戦局はミッドウェイを軸に大きく逆転することになったのである。日本軍が八隻の空母を誇つていたのに対し、米軍はわずか三隻。しかもそのうちの一隻は破損状態で戦いに臨んでいた。巡洋艦に至つては米軍八隻に対し、日本軍は実に二三隻を擁していたのである。戦力と兵力に於て圧倒的に米軍を抑えていた日本軍が敗れる戦いではなかつた。戦いの場に至つて、人間の勇気と、偶然の過失と、時の運がい

解説

かに不可能を可能にするか。ミッドウェイの決戦ほどそれを物語った実例はないであろう。ミッドウェイの決戦ほどそれを物語った実例はないであろう。

この映画は、建国二〇〇〇年祭のアメリカ映画界の参画を意識して「ジョーズ」のユニバーサル映画が「大地震」で初お目見得したセンサラウンド方式をもつて、空前のスケールと、超豪華なキャストで描く壮大な戦争アクション巨編である。

監督は「エアポート75」のジャック・スマイト。製作は「ウエスト・サイド物語」等の名プロデューサー、ウォルター・ミリッシュ。さて豪華な配役陣は、米軍側がチャールトン・ヘストンを筆頭にヘンリー・フォンダ、ジェームズ・コバーン、グレン・フォード、ロバート・ミッチャム、クリフ・ロバートソン、ロバート・ワグナー、エドワード・アルバート他というオールスター・キャスト。日本側は山本五十六大将を演じる三船敏郎をはじめ、「ザ・ヤクザ」のジエームズ・繁田、クリスティーナ・コクボなど、数多くの日系俳優で固めている。

米国側 1942年 (昭和17年)

4月18日 帝都東京に複空襲を受ける。
 5月5日 軍令部、ミッドウェイ島攻略作戦を発令。
 5月27日 (海軍記念日) 第1機動部隊 (指揮官・南雲忠一中将) ミッドウェイに向け広島湾桂島を出撃。
 5月28日 輸送船団 (指揮官・田中頼三少将) サイパンを出発。同支援隊 (指揮官・栗田健男少将) グアム出撃。
 5月29日 連合艦隊主力部隊 (司令長官・山本五十六大将) 及び攻略隊本隊 (指揮官・近藤信竹中将) ミッドウェイに向け桂島を出撃。
 6月3日 第1機動部隊変針点に到着。濃霧のため使用禁示の無線を各艦に発信。
 6月4日 第1機動部隊ミッドウェイ北西約1100km地点に接近。輸送部隊ミッドウェイ西1400kmを航行すれど支援部隊と連絡がとれず。
 6月5日 午前1時30分。ミッドウェイまで430kmに迫った第1機動部隊は4空母から戦闘機、爆撃機など108機ミッドウェイ島攻撃へ発艦。
 3時15分同戦隊は敵迎撃機と空中戦をはじながら、地上基地を爆撃するが地上には1機の飛行機もなし。友永指揮官は「第二次攻撃の要あり」と打電。
 4時。第1機動部隊はミッドウェイから発進したB26、B17や雷撃機などの来襲をうけるが、対空砲火とゼロ戦の活躍で被害はまったくなし。南雲中将はミッドウェイ第二次攻撃のため搭載機の爆弾変更を指示。

この次点では第1機動部隊も連合艦隊も米機動部隊の待ち伏せがあることは夢にも思っていない。先ず南雲部隊が空襲し、近藤部隊が攻略する。それにより出動して来る敵艦隊を山本主力艦隊が撃つ。これが日本軍のミッドウェイ島攻略作戦だった。しかし米国側は日本軍の行動をことごとく察知していたのである。かくして歴史を変える最大の海戦はその幕をきつて落とす……。

(日付・時間は日本時間)

米国側 1942年

4月18日 空母ホーネットを発艦した18機のB25爆撃隊東京を初空襲。
 5月上旬 日本軍の暗号を傍受し、6月上旬にハワイ方面への大攻勢があることを解説。
 5月中旬 日本軍の目標がミッドウェイ島であることを解説し、この方面の兵器の増強をはかる。
 5月下旬 第16、17機動部隊は真珠湾に帰投して昼夜兼行で出撃準備をととのえる。
 5月29日 第16機動部隊 (指揮官・レイモンド・A・スブルアンス少将) 敵を迎撃すべく真珠湾を出撃。
 5月31日 第17機動部隊 (指揮官・フランク・J・フレッチャー少将) 同じく真珠湾を出撃。
 6月2日 ミッドウェイ島の兵力、兵器の増強完了。万全の迎撃体制ととのう。
 6月5日 午前2時20分。哨戒機が日本軍機動部隊を発見、同時にミッドウェイに向う日本軍機も認め正確な位置を打電。この報を真珠湾で受けたニミッツ大将は、ミッドウェイの全機を発進させ迎撃と敵空母攻撃を指令。
 3時10分 ミッドウェイ北東400kmにある第16、17機動部隊に日本軍の方向、艦隊の種類などを充明な報告が入る。
 4時、雷撃可能範囲まで進んだ第16機動部隊は全力攻撃で敵機動部隊に向け発艦。5時30分。同じく第17機動部隊も半数を残して戦線へ。

7月3日(土)大公開!

有 樂 座

テアトル東京

新宿プラザ劇場

新宿スカラ座

渋谷東宝

池袋劇場

江東リツツ

(591)5351

(562)5301

(200)9141

(351)3127

(461)2268

(971)8361

(631)3121